

令和4年度学校法人彩煌学園
事業報告書

学校法人彩煌学園

令和4年度学校法人彩煌学園

事業報告書

【概要】

令和2年度からのコロナウイルス感染拡大の影響については令和3年度よりも活動制限が一部解除されてはいたものの、実際の感染状況よりも厳しい制限が求められている状態であったため、例年想定されている活動も創意工夫して行わなければならないなども難しい場面が多かった。またウクライナ戦争の影響による世界規模の物価高などで光熱水費などの経費の増大により、学園財務状況も大変苦しかった。そのような状況ではあったが生徒募集については例年並みを維持し、就職支援については専門の部署を立ち上げたこともあり満足にいく結果を残すことが出来た。留学生募集についても横浜市福祉事業経営者会との連携によりコロナウイルス感染拡大に伴う本邦入国が厳しい中例年通りの募集を行う事が出来た。

以下、令和4年度事業を列記する。

①教育事業全体

令和 4 年度は学園内でのコロナウイルス感染について校内消毒やマスク着用など協力も得て休業を検討しうる状況まで拡大しなかったのもリモート授業を含めた講義を実施することが出来た。

例年 5 月開催のレクリエーション大会は中止、11 月開催の鳳翔祭（学園祭）については内容を変更し、野外でのレクリエーション大会を開催することは出来た。

卒業式については、令和 3 年度は卒業生及び教職員のみでの開催であったが、令和 4 年度は令和 5 年 3 月 15 日に神奈川県民ホールで卒業生ご家族も参加できる卒業式を開催することが出来た。卒業パーティーについては教職員主催では 3 年ぶりに開催した。

②東洋療法科事業

令和 4 年度同様に講義は対面とオンラインのハイブリッド授業方式、実技授業は対面授業を採用したがコロナウイルス感染がそれほど多くなかったので使用頻度は抑えることが出来た。

臨床実習についてもほぼ当初の予定通りに行うことが出来た。

就職及び国家試験合格については例年以上の成果を上げる事が出来た。

③介護福祉科事業

令和 4 年度同様に講義は対面とオンラインのハイブリッド授業方式、実技授業は対面授業を採用したがコロナウイルス感染がそれほど多くなかったので使用頻度は抑えることが出来た。

施設実習についてもコロナウイルス感染症感染拡大防止ガイドラインの制定や感染状況により実習施設の変更や延期等も発生したがおおむね当初の予定通りに行うことが出来た。

就職に関しては、就職希望者全員の就職を実現した。

国家試験については、例年以上の成果があり、留学生については全員合格することが出来た。

④救急救命科事業

講義はオンライン授業と対面授業の併用、シミュレーション実習等実技授業は対面授業とした。

臨地実習についても受入各機関のご配慮により当初の予定通り行うことが出来た。

就職については卒業予定者全員が各地区の消防局、陸海空の自衛隊、医療機関などに就職することが出来た。

⑤キャリア支援センター活動状況

(1) 広報活動について

高校訪問、校内で行うオープンキャンパス・個別見学・夜の学校見学会の他に、高校内進路ガイダンスなどで本校の魅力を十分に PR することが出来た。

パシフィコ横浜で開催の進路フェスタ・マイナビフェスタ等会場型進路相談会はコロナウイルス感染拡大を徹底した上での実施となりコロナ過以前の参加者にはまだ復調していなかったが当校の相談ブースは高校生で盛況だった。

神奈川県・神奈川県教育委員会・一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会との共催事業である「仕事のまなび場」事業及び「小中学生のチャレンジスクール」事業も感染拡大防止を徹底して開催された。

留学生募集活動については約 3 年ぶりに海外での募集活動を行う事が出来、令和 5 年 3 月にベトナム・ミャンマーに赴き、留学生送り出し機関への説明、留学希望者への学校説明会なども開催することが出来た。

(2) 就職支援事業について

各科での就職に関する講義、就職先機関をお招きしての就職ガイダンス、模擬面接、履歴書作成指導などを行い、著しい成果を上げることが出来た。

⑥附属臨床施術所事業

年間を通じコロナウイルス感染拡大による影響もあったが、徐々に復調の兆しを見せた。

⑦経済的困窮学生への就学支援事業

令和4年度も奨学金等については奨学金担当者の努力もありコロナ過により生活が困窮した学生のニーズに対しいち早く対応し、困窮学生への行政支援策の案内早期告知、学生校納金の分割納入などの施策を実施し経済的に困窮した学生を支援した。

⑧留学生受入事業

令和3年度同様に神奈川県・横浜市等行政機関の他に各種連携支援機関と共にコロナ過での生活指導などを例年より強化して行った。

在留資格期間更新については恙なく無事に更新が出来た。

日本語担当教師を雇用し日本語授業にも注力した。

入国できない生徒についてはオンライン授業で対応した。

⑨渉外活動について

神奈川県専修学校各種学校協会副会長校として渉外委員会専門学校委員会キャリアスタディ委員会を通じた専修学校振興活動事業、神奈川県専修学校各種学校協会横浜支部長校として横浜市内専修学校振興活動事業、横浜市福祉事業経営者会理事校として横浜市内福祉教育振興事業、神奈川県商業教育振興会専門学校部会での商業高校生への支援事業、その他神奈川県職業教育振興会、横浜開港祭協議会や横浜サンセット21ライオンズクラブ等を通しての他業種との連携事業等を行い、本学園設置学科に関係した業界の振興、専修学校の振興等に関係団体でリーダーシップを発揮し、その知名度の増大にも大いに寄与した。

⑩コロナウイルス感染拡大防止対策事業

令和4年度もコロナウイルス感染拡大防止について、引き続き隔離用教室を準備し、常時使用できるように待機させ、湘南医療福祉専門学校の教育活動をサポートした。

以上